

齋藤志保さん世界のコートで大健闘

小学6年生の齋藤志保さん(岩手県太極拳協会所属)が、マレーシア、クアラルンプールで行われた「第一回世界ジュニア武術選手権大会」に日本代表選手として出場し、見事4位に入賞されました。



志保さんは4歳の時、岩手県太極拳協会長拳教室に入会し、小学4年生の時からスタートした孔祥東老師の東北巡回講習ジュニア教室で基本功や長拳の訓練に励み、太極拳も始めました。柔軟性に富み、素直で練習熱心な志保さんは、孔松東老師や高橋智子先生の厳しい指導を受け入れ、今年4月に行われた「ジュニアオリンピックカップ 24式太極拳」で優勝し、日本代表10人のメンバーとなりました。

参加40カ国の国際大会を経験した感想を寄せてもらいました

「初めての世界大会」

齋藤志保

8月22日の朝、私の出番です。大会で1番最初に始まったのが私の組でした。

朝5時に起きて準備をしました。バスで会場に行って本番のBコートで練習しました。コートは全国大会の絨毯じゃなくて、色も青くて綿が出ないカーペットのようなコートでした。練習はそんなに緊張せずに、集中してできました。



本番はものすごく緊張して、手が震えているのが、自分でもものすごくわかりました。本番の約6分間はあっという間でした。ミスはしなかったけれど、のびのびできなかったのが、そこが残念です。

私は、出番が最初の日の朝だったので、残りはずっと応援でした。他の国の選手を見るとやはりレベルの差は大きいなと思いました。

また国際大会に出場できたら、今度は中国の選手のようにのびのび演技したいです

